

第2回中学生のスポーツ・文化活動の地域展開検討会議要旨録

と き：令和5年8月22日（火）19:30

ところ：多可町役場2階大会議室

（PTAグループ）

- ・地域移行の理解が十分でない。前提の条件が固まらない状況でのアンケートは、単なるニーズ調査になってしまうのではないか。
- ・具体的なイメージを示して理解を図っていかないと、今の段階ではアンケートの実施は難しいのではないか。
- ・地域移行を社会教育や生涯学習の視点で考えるという部分でまだ理解が進んでいない。

（学校）

- ・アンケートの意味を考えないと。今ではイメージがつかない。
- ・この内容では答えられない。どうなるということが分かった上でないと答えられない。
- ・賛成反対を聞いても仕方ない。
- ・部活をしたいから先生になった人もいる。家庭第一の先生もいる。どんな形なら関わられるか等の聞き方で今後に生かせるものを。

（地域クラブ）

- ・前提が分からない。どの設問も回答が難しい。
- ・誰に取るか？クラブの代表？一人ではなくみんなに聞いてほしい。
- ・現存のクラブに生徒さんに来てもらうのは難しい。指導者として関われるかどうかという問の方が回答しやすい。
- ・この条件なら協力できるという内容なら回答しやすい。

（全体）

- ・移行後のイメージを作る。前提条件を分かりやすく示す必要がある。シンプルに。
- ・アンケートが2回3回になることもありえる。
- ・国はA：地域連携とB：地域展開を示していて、多可町はBにしようとしている。
- ・昨今の熱中症の報道を見ていると、夏の日中の活動はできなくなっている。そうすると、夜間の活動が可能性としてはあるのかと思っている。
- ・言葉の定義が難しい。
- ・多可町としては社会教育、生涯学習というスタンス。
- ・アンケートは延期する。
- ・方向をこの会で決める。
- ・習い事になるイメージ。
- ・統合すると距離の問題が確実に出てくる。
- ・当初の統合のメリット（部活）は破綻している。
- ・指導者をしてもいい人がどのくらい地域にいるかが鍵。先生以外の方が学校でスポー

ツを教えてくれるということへの免疫が子どもたちにはない状態。外部コーチの導入を積極的に進めたらどうか。少しずつ慣らしていく。

- ・現状の外部指導員は一本釣り。
- ・部活動を地域でもってもらおうと言うことは全く思っていない。部活の仕組みを更地にして、やりたいことができる体制を地域の協力をもらいながら作っていきたい。
- ・部活のイメージが抜けない。早く保護者に対して地域移行するということを宣言して進めた方が良いのではないか。
- ・学校としてもどこかの時点で部活がなくなるということを言ってもらいたい。
- ・説明できるような準備を進める。
- ・地域クラブ側でも基本的な指導ラインを示してもらえるとありがたい。教育的視点、社会教育的視点など。せつかくの地域クラブがつぶれてしまうことがないように。
- ・正しいコーチングはどの種目でも同じ。複数体制とか監視体制とかで問題の予防を図る。一人で、誰にも相談できないような環境になったときに問題は起こりやすい。
- ・やる、やめる、やすむ自由が担保されていない環境は問題が起こりやすい。
- ・この機会に、多可町として認定するような基準を決めるのも良いと思う。
- ・部活は休めない活動。これからの地域クラブはやりたい子が参加するものにしておけば活動しやすくなる。
- ・12月の新入生説明会にはある程度の形を示したい。
- ・来年度は地域クラブとして卓球、バスケも選択できます。というところまで決めておかないと説明できない。
- ・今バスケを一生懸命したい子は、地域のクラブのみに参加し、学校部活動には所属していない。
- ・文化部も課題。
- ・まずはイメージづくりと、各種目の可能性の情報収集を進め次回の会議に提示したい。